



つまようじタワーの耐震性を競う
高校生たち=22日、熊本市西区

つまようじタワー倒れるな！ 高校生、耐震性競う

高校生がつまようじと木工用ボンドだけで組み立てた「つまようじタワー」の耐震性を競うコンテストが22日、熊本市西区の崇城大であった。県内外の27校から83組166人が参加し、工夫を凝らした作品で熱戦を繰り広げた。

ものじぐじと建物の耐震性への関心を高めてもらおうと、同大が毎年開き8回目。建築系学科と普通科などの2部門で審査した。

タワーの条件は30センチ四方の台座の上に、50センチ以上の高さで作ることなど。振動を発生させる装置に載せ、頂上の重りをいきまづ増やしなが、どこまで耐えられるかを競った。「バリッ」と音を立てて倒壊するタワーもあり、高校生は「よく耐えた」「あーあ」など一喜一憂しながら自信作を見守った。

普通科部門に参加した大津高2年の高橋ことみさんと小林尚輝さんは「製作期間が短かったので試作をせずに一気に作った。負荷が分散されるように筋交いを工夫した」と話した。
(前田晃志)